

— やんば —

STOP! THE ハッ場ダムニュース



IN 埼玉

No. 2 2004. 11. 14

(ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会ニュース・改題)

ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会 代表 藤永知子 TEL/FAX 048-825-3291

監査請求から住民訴訟へ・・・11月4日提訴

「ハッ場ダムをストップさせる埼玉の会」では、追加の方も併せて893名の方から頂いた監査請求を9月10日に他の5都県の会と共に提出した結果、意見陳述の機会も与えられること無く、10月7日に却下されました。私達の出した請求の内容は全く審議されず、「要件を具備していない」として門前払いをしました。これでは監査委員は本来すべきチェック機能を果たしているとはいえません。そもそも利水面においても水源確保がされていてダムの必要性はありませんし、また治水面でも同様です。そのうえ、災害を誘発する可能性のあるダムです。そこで必要のないダムに私達の税金を無駄に使わせないために住民訴訟を提起することになりました。請求人となられた854名の方々に呼びかけ、原告人になって下さるようお願いをしました。(記述の違いや未成年の方を除かれ、最終請求人は854名)その結果、短い時間のなかで32名の方が原告として名乗りを上げてくださいました。茨城と共に市民オンブズマンや公害などの問題に取り組まれている弁護士の方々の協力を得て、11月4日、さいたま地裁に「ハッ場ダム建設に関連する県の負担金の支出差止めを求める」住民訴訟を提起しました。本体工事に入っていない今だからこそ「ハッ場ダム建設」という日本一お金のかかるダム事業に対し、私達ははっきり「ノー」を言い、このダム計画から6都県が撤退、国土交通省が計画を中止し、50年間苦しめてきた現地の補償を十分行なうことを求める目的でこの裁判に臨みます。この裁判を通して、一度失えば元には戻らない自然と人間の共生、そして子孫にもう要らないであろうし、壊すにも維持するにもお金のかかるコンクリートのダムと多額の借金を残しているのかが問われているのです。また、裁判には多くの時間と労力とお金がかると予想されます(弁護士は手弁当で担当してくれますが、その他資料の印刷や証人に経費が掛かります)。どうか市民の皆さまの熱意とカンパでこの訴訟を支えていただきますようにご協力宜しくお願い申し上げます。また「埼玉の会」では、ハッ場ダムの問題を広く市民のみなさんに知っていただくために県下各地でミニ学習会を開催していきます。是非そちらにもお越しく下さるよう重ねてお願い致します。『西の川辺川 東のハッ場』と多くの人に印象付けられるように元気に頑張りましょう。(藤永 知子)

(1) 利き水の結果



水道水がまずくなったという声をよく耳にする。広告の影響も大きいですが、ミネラルウォーターの類が飲み物売り場の一角を占め、浄水器があちこちの家庭で取り付けられているのは、その現れである。しかし、水道水の全部がまずくなったのではない。水道水の味はその水源の種類によって大きな差があり、まずい水もあればおいしい水もある。

この水道水の味の品評、すなわち、利き酒ならぬ利き水の催しが市民の集会などで行われることがある。どこの浄水場の水道水であるかを隠した上で何種類かの水道水を並べ、参加者に少しずつ飲んでもらって味の優劣を判定してもらうものである。ビールの利き酒はビールの銘柄よりも、その保全状態の影響が大きく、専門家でも味で銘柄を当てるのが結構難しいようだが、利き水の場合もその保存の仕方が影響するから、なるべく新鮮な水道水を使う必要がある。また、水温が低いと、味の差が出にくいので、人肌程度におかんをして利き水をするのが望ましい。

東京の利き水でよく使われる水道水は、荒川中流から取水している朝霞浄水場、多摩川上流から取水している小作(おさく)浄水場(羽村市内)、地下水を水源とする昭島市浄水場の三種類である。埼玉県が各市町村に給水している水道水の約半分は、朝霞浄水場とほぼ同じ水質の大久保浄水場である。

これらの三種類の水道水について利き水を行い、おいしい順位をつけてもらうと、いつも同じ結果が得られる。もちろん、個人差があり、おいしい水を飲んで育った人は水の味に対する舌の感覚が鋭敏で、まずい水を飲んで育った人は微妙な味の差が分かりにくいという傾向があるから、あくまで統計的な結果である。その結果は、一位が昭島の水道水、二位が小作の水道水、最後が朝霞の水道水である。

このおいしさの順位は、原水の汚れ具合を反映している。小作と朝霞はそれぞれ川の上流、中流から取水しており、小作の原水は朝霞のそれよりかなり清浄である。そして、昭島の原水である地下水は小作よりもはるかに清浄である。このように水道水の味の優劣は原水の汚れ程度と密接な関係がある。原水が汚れている水道水はまずく、原水がきれいな水道水はおいしいということである。

埼玉ではこの最もおいしい水道水である地下水が八ツ場ダムとともに、削減されようとしている。

集会のご案内

◎埼玉県内ミニ集会

「ストップさせる会」では、より多くの県民の方々に八ツ場ダムの問題を知っていただくため、各地で「ミニ集会（学習会）」の開催を計画しています。

現在、確定しているのは、下記の二箇所です。



- 11月20日（土）朝霞 13:00～16:00
朝霞市弁財市民センター 1Fホール
「八ツ場ダムを知っていますか？」講師：嶋津暉之
連絡先：たたら 携帯090-9101-5532

- 12月11日（土）所沢 10:00～12:00
所沢生活館（生活クラブ生協） TEL 042-943-0211
（新所沢駅東口より「ニュータウン行き」または「フラワーヒル行き」
二つ目の停留所「美原町3丁目」下車すぐ前）
テーマ：未定 講師：嶋津暉之



◎八ツ場ダム住民訴訟スタート集会

- 12月5日（日） 午後1時20分～4時30分
渋谷フォーラム・エイト 6階オリオン・ホール
（渋谷駅ハチ公口より徒歩7分、道玄坂を登る。新大宗ビル）
（資料代：1000円）

- 内容：▼オープニングミニコンサート 野木啓太
▼原告団アピール「八ツ場ダム住民訴訟の意義と要点」
▼講演「八ツ場ダムは利根川治水に役立つか？」 大熊 孝
▼パネルディスカッション「治水、利水、地質～史上最悪のダムを総点検」
▼連帯アピール

八ツ場ダムをストップさせる埼玉の会

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和 3-12-3-601 藤永 知子 方

TEL/FAX 048-825-3291

== 吾妻溪谷を訪れて ==

●私が、吾妻溪谷を訪れたのは、「八ツ場ダムをストップさせる埼玉の会」が発足してから三度目です。はじめは、昨年八月の群馬の「八ツ場ダムを考える会」主催の縄文遺跡とダムの付帯工事である県道林吾妻線のトンネル工事現場と代替地の見学会でした。それはあたかも砂場で遊ぶ子供のように、最新の重機を使い工事は進められ、保水力のある大木は切られ、山の崩される様は環境破壊そのものと見ました。「本当に八ツ場ダムは、必要なのか？」疑問は大きくなりました。その後、嶋津先生の学習会を重ねるうちに、必要のないダムだと確信し、これ以上無駄な税金を使ってはいけないと思いました。

二度目は、新緑の五月、品木ダムの見学と「みんなで八ツ場を歌って歩こう会」の参加でした。吾妻溪谷をゆっくり歩きました。「緑豊かで、流れ落ちる滝」自然の美がそこにありました。秋の紅葉も見たいという欲望から、三度目は、十一月七日の「歩こう会」に参加しました。木々は様々に色づき岩肌と共に、美しい眺めでした。紅葉の名勝は、大勢の人々が散策に訪れて、列を成していました。私たちは、五月同様に、群馬大の山西先生の体操と長良川河口堰の反対運動にかかわったフォークシンガーの笠木透さんの優しい気持ちにしてくれる歌声で身体も心もリフレッシュし、歌声は吾妻の空に響き渡りました。

私は、温泉で汗を流し、帰途の電車の中で、是が非でも八ツ場ダムの本体工事をストップさせて、この吾妻溪谷を永遠に残したいと心を硬くした一日でした。 (大高 文子)



● 大宮から娘2人を連れて参加した。今が見頃と大勢の観光客で賑わっている。真っ青な空と紅葉の見事なコントラスト。ここにダムが出来ると娘に話すと「知ってるよ、ダムは生活に必要な水を貯めておくんだよ。」と4年生の姉。でも60年位で使えなくなると説明すると「ふうん」。それは学校では教えないらしい。

溪谷を一周して温泉街を歩くと人気のない民家の壁に“ダム建設絶対反対”の文字。かと思えば大きな新しい完成予想図があったり。賛成・反対の意思表示を強制され、町は引き裂かれ、疲弊していったのだろう。二百年に一度、多分来ないであろう災害予想のために、埼玉に暮らす私達がこの溪谷の人たちの暮らしを奪ってはいけないと思った。(下川 美紀)